



今日の表紙

武射祭



1月4日(土)、災難除けと開運を祈願し、中宮祠上神橋で武射祭が行われました。

この神事は、室町時代から続く伝統ある神事で、二荒山神と赤城山神がお互いのある湖沼や温泉などをめぐって争ったという神戦譚に由来します。争いのさなか、弓の名手・小野猿丸がムカデの化身となった赤城山神の目を射抜き、赤城群を追い払ったという伝説に習い、赤城山の方向に向かって矢を放ちます。

震えるような寒さの中、宮司や神官、弓道愛好家が「ヤー」という関の声を威勢よく張り上げ、次々に矢を放ちました。放たれた矢は、札所で災難除け開運御守をつけた破魔矢にし、持ち帰ることができます。

矢を拾うことができた桐山瑠美さん(宇都宮市)は「毎年来ています。今年は兄が受験なので、がんばって拾いました」と目を輝かせていました。



**ゆず湯風呂キャンペーン**  
12月21日(土)・22日(日)に、鬼怒川・川治温泉で、「ゆず湯風呂キャンペーン」が開催されました。ホテル・旅館の温泉だけではなく、鬼怒川温泉駅前の足湯も、ゆず湯になりました。東京都から来た鈴木さんは、「鬼怒川温泉には初めて来ました。温かくて気持ちいいですね」と話してくれました。



**美術館のお正月**  
1月1日(水・祝)〜3日(金)に、小杉放菴記念日光美術館で、「2014たのしいお正月」イベントが開催されました。埼玉県和光市からきょうだいで訪れた西若菜ちゃん・直人くんは、「昔の遊びが楽しくて毎年来ています。来年もまた来ます」と、羽根つきを楽しんでいました。



**日光市駅伝競走大会**  
12月15日(日)、第8回日光市駅伝競走大会が行われ、寒風の吹く冬の日光路を、ゴールの日光市役所を目指しました。7チームが出場した一般部・支部対抗と、13チームが出場した一般部・オープン、日光総合会館前、12チームが出場した中学校対抗の部は、豊岡運動公園をそ



れぞれスタート。支部対抗では大沢支部が、オープンでは栃木RCが、中学校対抗の部では大沢中学校Aが、それぞれ優勝しました。オープンでペアーズの6区を任された大塚良介さんは、「緊張していたけど、チームのみんなと完走することができました」と、話してくれました。



**日光田母沢御用邸 三階特別公開**  
12月15日(日)〜1月31日(金)、田母沢御用邸記念公園の三階御展望室が特別公開されています。さいたま市から友人同士で訪れた河島さん、佐久間さん、寺山さんは、薄雪が残る庭園の景色に「冬景色も素晴らしいけど、次は庭園のしだれ桜が咲く頃に見てみたいですね」と、話してくれました。



**日光杯全日本女子中学・高校生アイスホッケー大会**  
12月21日(土)〜23日(月)、霧降アイスアリーナと細尾ドームリンクで、全日本女子中学・高校生アイスホッケー大会が開催されました。栃木県選抜チームは21日の初戦、岩手県・秋田県選抜チームと対戦し、9対0と大勝しました。続く2回戦は、帯広選抜チームと対戦し、4対3と勝利して、決勝ト



ナメントへと進みました。決勝トーナメントでは、前大会準優勝した、東京都選抜チームに0対4と惜しくも敗れてしまいましたが、ベスト8に入ることができました。栃木県選抜チームのキャプテンでセンターの松永佳瑚選手は「一人一人良いプレーができ、チームとして全力を出すことができました」と話してくれました。



年忘れ爆笑日光寄席



12月14日(土)、日光総合会館で毎年恒例の年忘れ日光寄席が開催されました。会場には開場前から多くの観客が訪れ、落語や手品などの名人芸を楽しんでいました。

この日は、落語家の三遊亭鳳好氏と三遊亭遊史郎氏が、それぞれ古典落語の「牛ほめ」と12月14日の赤穂浪士の討ち入りの日にちなんだ「七段目」を演じ、会場からは終始笑いの渦が巻き起こっていました。

また、手品師のダミー氏によるマジックショーでは、トランプやひもを使った鮮やかな手さばきに、会場のあちこちから感嘆の声が上がりました。

久次良町から訪れた石島さんは、「今年初めて見に来ました。年忘れにふさわしい内容で、とても楽しい時間を過ごすことができました。来年も機会があればぜひ見に来たいです」と答えてくれました。

